

平成19年度国債発行予定額

(H 1 8 . 1 2 . 2 4)
財 務 省

< 発行根拠法別発行額 >

(単位:億円)

区 分	18年度当初	18年度補正後		19年度予定	
	(a)	(b)	(b) - (a)	(c)	(c) - (a)
新規財源債	299,730	274,700	25,030	254,320	45,410
建設国債	54,840	64,150	9,310	52,310	2,530
特例国債	244,890	210,550	34,340	202,010	42,880
借換債	1,082,621	1,081,855	766	998,060	84,561
財投債	272,000	272,000	-	186,000	86,000
市中発行分	120,000	120,000	-	110,000	10,000
経過措置分	152,000	152,000	-	76,000	76,000
国債発行総額	1,654,351	1,628,555	25,796	1,438,380	215,971

- ・40年の超長期債等、新たな年限の国債について、市場のニーズに応じ、適切な条件で、機動的に発行できる体制を整備する。
- ・買入消却は、平成19年度は約1兆8,000億円実施する予定である。
- ・金利スワップ取引は、想定元本ベースで、平成19年度は1兆8,000億円を上限とする。
- ・平成19年度における前倒し債発行限度額は20兆円とする。

(注1) 各計数ごとに四捨五入したため、計において符合しない場合がある。

(注2) カレンダーベース市中発行額は、あらかじめ定期的に額を決めた入札により発行する国債の、4月から翌年3月までの発行予定額の総額をいう。

(注3) 第 非価格競争入札に係る発行予定額については、当該入札を実施する国債のカレンダーベース市中発行額の3%を計上している。

(注4) 本年より窓口販売分は「公的部門」から「個人向け販売分」に組み替えた。

< 消化方式別発行額 >

(単位:億円)

区 分	18年度当初	18年度補正後		19年度予定	
	(a)	(b)	(b) - (a)	(c)	(c) - (a)
カレンダーベース市中発行額	1,180,000	1,130,000	50,000	1,096,000	84,000
第 非価格競争入札	26,580	33,580	7,000	25,860	720
前倒し債発行減額による調整分	55,197	52,401	2,796	62,460	7,263
市中発行分 計	1,261,777	1,215,981	45,796	1,184,320	77,457
個人向け国債	53,000	73,000	20,000	63,300	10,300
その他窓販	22,000	22,000	-	18,200	3,800
個人向け販売分 計	75,000	95,000	20,000	81,500	6,500
日銀乗換	165,574	165,574	-	96,560	69,014
財投債経過措置分	152,000	152,000	-	76,000	76,000
(郵便貯金資金)	(110,000)	(110,000)	(-)	(55,000)	(55,000)
(年金資金)	(32,000)	(32,000)	(-)	(16,000)	(16,000)
(簡易生命保険資金)	(10,000)	(10,000)	(-)	(5,000)	(5,000)
公的部門 計	317,574	317,574	-	172,560	145,014
合 計	1,654,351	1,628,555	25,796	1,438,380	215,971